

薬価基準収載に伴う 一般流通開始のご案内



抗ウイルス剤 薬価基準収載

ラゲブリオ® カプセル 200mg

LAGEVRIO®

モルヌピラビルカプセル

劇薬／処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

謹啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社製品につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、抗ウイルス剤「ラゲブリオ®カプセル 200mg」（一般名：モルヌピラビル）の薬価基準収載に伴い、2022年9月16日より一般流通を開始させていただく運びとなりましたので、謹んでご案内申し上げます。

ラゲブリオ®カプセル 200mgは、国内初の「SARS-CoV-2 による感染症」を効能又は効果とする経口抗ウイルス剤であり、2021年12月に特例承認されました。

この度、本剤の供給の見通しが立ったことから、薬価基準収載の申請を行い、2022年8月18日に薬価基準収載に至りました。本剤は、特例承認のCOVID-19治療薬であるため、本剤の処方に際しては、電子添文の「本剤の使用に当たっては、あらかじめ患者又は代諾者に、その旨並びに有効性及び安全性に関する情報を十分に説明し、文書による同意を得てから投与すること」の記載に従い、引き続き、担当医師からの説明と患者さん又は代諾者からの同意書の取得が必要となります。

なお、本剤の有効期間を従来の24箇月から30箇月に延長いたしましたことも併せてご案内申し上げます。

弊社では、COVID-19治療に対し、先生方をはじめ患者さんのお役に立てるよう、これからも一層の貢献をしてまいりたいと考えております。

今後とも、弊社へのご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和4年9月吉日

謹白

MSD株式会社／杏林製薬株式会社

国購入品



薬価基準収載品（一般流通品）



※外箱、ボトルに黒いラインが入りました。

ラゲブリオ®カプセル 医療保険に関する情報

	国購入品	薬価基準収載品(一般流通品)
販売名	ラゲブリオ®カプセル200mg	
一般名	モルヌピラビル	
含量(1カプセル中)	モルヌピラビルとして200mg	
承認番号	30300AMX00467000	
規制区分	劇薬、処方箋医薬品	
薬効分類	625：抗ウイルス剤	
承認日	2021年12月24日	
発売日	2021年12月24日	
薬価基準収載日	—	2022年8月18日
規格単位・薬価	—	200mg 1カプセル：2,357.80
包装	瓶 40カプセル	
厚生労働省告示番号	—	厚生労働省告示第250号
薬価基準収載医薬品コード (厚労省コード)	—	6250051M1028
個別医薬品コード (YJコード・販売名コード)	62500B6M1020	6250051M1028
レセプト電算処理システム用コード (レセプトコード) ^{注1}	—	628785401
統一商品コード	185810760	185810746
標準医薬品マスター基準番号 (HOT番号) ^{注2}	1878547010101	1878547010201
販売包装単位コード (GS1コード) ^{注3}	(01)14987185810767	(01)14987185810743
調剤包装単位コード (GS1コード) ^{注3}	(01)04987185502207	(01)04987185502214

注1：電子レセプトで保険請求を行う際に使用されているコードです。

注2：主に電子カルテで使用されているコードです。

注3：取り換え事故の防止や、トレーサビリティ確保の観点から、医薬品にバーコードを表示するために標準化されたコードです。

販売包装単位：医療機関等に販売される最小の包装単位で、「10錠PTPシート×10入りの個装箱」や「10アンプル入りの個装箱」などです。

ラゲブリオ®カプセルでは「40カプセル入りの瓶」になります。

調剤包装単位：医薬品を包装する最小の包装単位で、「PTPシート」や「アンプル」などです。

ラゲブリオ®カプセルでは「カプセル」になります。



製造販売元【文献請求先及び問い合わせ先】

MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア

<http://www.msd.co.jp/>

【MSDカスタマーサポートセンター】

医療関係者の方：フリーダイヤル 0120-024-961

〈受付時間〉9:00～17:30（土日祝日・当社休日を除く）



プロモーション提携

杏林製薬株式会社

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地